

第3学年 英語科学習指導案

日 時 令和2年9月28日(月) 公開授業1
学 級 遠野市立遠野中学校 3年4組28名
授業者 和田 幸 恵

1 単元名 Program5 Sushi-Go-Around in the World (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 開隆堂)

2 内容のまとめ

(1) 言語活動 イ 話すこと(発表)

3 単元の目標

(1) 間違いを恐れず、積極的に英語を話そうとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) Retelling 活動を生かして、ALT の先生に遠野や岩手の郷土食を紹介する。【外国語表現の能力】

(3) call 0 C、make 0 C、間接疑問文の構造を理解する。【言語や文化の知識理解】

4 単元について

(1) 生徒について

ア パフォーマンステストを行う際にはマッピングを行い、自分の考えを整理して発表できるような活動を行っている。一人でやるのが困難な生徒に対しては、理解できる生徒が声をかけ、ヒントを与えるなどして一緒に取り組むことができている。

イ NRT の結果は、4技能とも全国比を下回っており、特に読むことに落ち込みが見られるので、授業においてプログラムごとの本文の内容に関する学習シートを初見で取り組ませることにより、自分で考えることの習慣づけを行っている。

(2) 教材について

ア 言語材料として、call 0 C、make 0 C、間接疑問文を扱う。

イ 教科書題材にある回転寿司や世界の日本食ブームの背景で扱われている表現を参考に、遠野や岩手の郷土食について説明や紹介ができる教材である。

(3) 指導について

ア 主体的に生徒が学習に取り組むためのルーブリックと振り返りシートを配付する。

イ CAN-DO の「話すこと・発表」において「スペンサー先生に遠野や岩手の郷土食を紹介しよう。」をパフォーマンス課題にして、自分が知っている遠野や岩手の郷土食について、マッピングで内容を整理し発表をさせる。

ウ 本時は次の時間に行うパフォーマンステストに向け、マッピングを元に構成を考えながら郷土食を紹介する。発表の内容をペア・ワーク、グループ・ワークで共有しながら、フィードバックを繰り返すことで自信をもって発表させたい。

5 遠野中学校の研究との関わり

【研究主題】「主体的に学ぶ生徒の育成 ～自分の考えをもち、関わり合う授業を通して～」

視点1「課題意識の持続」・・・ルーブリックを用いて単元、1単位時間のゴールや目指す姿を明確に示し、課題意識を持続させる。

視点2「達成状況の把握」・・・振り返りシート、発表、パフォーマンステストやペーパーテストで把握する。

視点3「関わり合う場面の設定」・・・スペンサー先生に遠野や岩手の郷土食を紹介する。

(B「他者との関わり合い」)

6 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化の知識理解
ルーブリックのBを達成で きるよう間違いを恐れず、積 極的に英語を話そうとして いる。	スペンサー先生に遠野や 岩手の郷土食を紹介する ことができる。	/	Call O C、 make O C、間接 疑問文を用いた文の構造を 理解している。

7 指導と評価の計画 (8時間扱い ※本時はその6時間目)

時間	ねらい・学習活動	重点「評価規準」	評価(方法)
1	・単元のゴールを示す。(ルーブリックを配付) ・ call を用いて遠野や岩手の郷土食の名前 が紹介できる。	ア エ	観察 後日ペーパーテスト
2	・ make を用いて遠野や岩手の郷土食を人気に した店を紹介することができる。	エ	観察 後日ペーパーテスト
3	・間接疑問文を用いてスペンサー先生に遠野 や岩手の郷土食についてのクイズを作ること ができる。	エ	観察 後日ペーパーテスト
4	・回転寿司の歴史について Retelling するこ とができる。	イ	観察 後日ペーパーテスト
5	・日本食のブームについて Retelling するこ とができる。	イ	観察 後日ペーパーテスト
6	・遠野や岩手の郷土食をマッピングして紹介 することができる。	イ	観察
7	【パフォーマンステスト】 ・スペンサー先生に遠野や岩手の郷土食を紹 介しよう。	ア イ	パフォーマンステスト
8	・ペーパーテスト	エ	

8 本時の指導(6時間目/全8時間)

(1) 目標

ペアやグループで、遠野や岩手の郷土食を紹介することができる。【外国語表現の能力】

(2) 展開

過程	学習内容	生徒の活動	●評価 ・留意点など
導入 7分	1. あいさつ 2. 帯活動 3. 学習課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ small talk <p>Topic: What's your favorite food in Tono?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルーブリックの確認をする。 ・ デモンストレーションから本時のイメージをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テンポよく進める。 ・ ペア・ワーク。じゃんけんの勝者は敗者に遠野の郷土料理についての質問をする。敗者はその質問に答え対話を続ける。45秒でローテーションする。 <p>視点1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルーブリックの確認 ・ 教師のデモンストレーション
<p>学習課題：ペアやグループで遠野や岩手の郷土食を紹介する。</p>			
展開 40分	4. 発表の準備 (ペア・ワーク) 5. 発表①ペア 6. 発表②グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠野や岩手の郷土食を紹介するマッピングをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでマッピングやメモなどを使い発表の準備をする。 ・ 郷土食が重ならないようにする。 <p>ex) Do you know this food? It's traditional food in Tono. we call it "hittsumi". Do you know when we eat it? We eat it when we don't have enough rice to eat. We eat it instead of rice. Many vegetables are in it. So it makes us healthy.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人でマッピングやメモを使いながら発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分についてのマッピングをする。 ・ 教科書や辞書を使用してもよい。 ・ マッピングをもとに構成を考えながら発表原稿を整える。 ・ マッピングやメモを元にペアに伝わる声で発表させる。 ・ 何組かのペアに発表をさせ、フィードバックを行う。(良い点の確認や次の活動につながる声掛けをする) ● ペアで互いに発表し、適切な相づちやアドバイスができているかを観察 <p>視点3B：他者との関わり合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 順番を決めて発表する。聞き手に伝わるよう工夫して発表させる。 ・ 必要な生徒のみマッピングやメモを使う。 ● 聞き手に内容が伝わるように発表ができていくか観察
終末 3分	7. 振り返り 8. 次時の確認 9. あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りをシートに記入する。 	<p>視点2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の課題の達成状況や次時につながる達成目標を記入させる。 ・ パフォーマンステストに向けての練習を促す。